



11月17日から春日井

インタビュー

春日井広報大使が語る

春日井の魅力・春日井ナンバーの魅力

春日井ナンバーが 交通安全のナンバーに

井原さんにとって、
春日井の魅力はどこだと思いますか。

交通の便が良く、大きな川や山など自然が身近にあるのが私の好みに合って、とても住みやすいまちです。

春日井ナンバーをきっかけにどのような
まちになってほしいですか？

春日井市は、日本の中央部に位置し、交通インフラが整備されているので、市外の人もたくさん行き来しています。安全運転や交通環境をPRすることができる場所であり、ナンバーの導入がその良いきっかけとなると思います。

特に考えていただきたいのが、交通マナーについてです。愛知県は道路の幅も広く走りやすいのですが、交通事故も多発しています。その要因と考えられるのが、交差点で状況に応じたスピードの加減速ができていないこと、脇に歩行者がいても徐行しないなど歩行者を尊重していないことです。この2点に気を配るだけでも、交通事故は減少します。

海外の道路を走っていると思うのが、交通マナーが良い国や地域では、他から来た車も雰囲気を感じ取り、交通ルールを守るといことです。ナンバー導入を機に、市民の皆さんが今より安全運転を心掛けてくださると、市外の手も、マナーの良さを感じてルールを守って走行するようになります。春日井ナンバーは、交通安全の車と周りから思われるようになることを期待しています。

ル・マン24時間レースで入賞



富士6時間耐久
レースでは3位に



レーシングドライバー 井原慶子
KEIKO IHARA

思い入れのあるナンバーは？

もちろん1番が好きですが、4や5が入っているナンバーは縁起が良く、レースでも無事ゴールできることが多いです。ル・マン24時間レースで完走した際のゼッケンは50番でしたし、10月の富士6時間耐久レースでクラス3位となり、女性初となる表彰台に立ったときも35番でした。

本当にラッキーナンバーですね。

今回はナンバーだけではなく、春日井の皆さんに応援してもらってレースに臨めたことが、非常に大きな成果につながったと思います。身近な方たちの応援が力になっているのを実感しています。

プロフィール

元レースクイーンで唯一の女性ドライバーとして世界耐久選手権(WEC)などに参戦。今シーズンは、6月に行われた自動車レースの世界最高峰ル・マン24時間レースで、日本人女性初の完走を果たしただけでなく、日本人最高位の総合14位、クラス9位入賞。